（様式－3）

送電線工事災害報告書（再発防止対策書）

九州支部

発生日時	令和 7年 4月 25日（金曜日） 11時 20分							天候	晴れ	
災害の程度	死亡 名		負傷 1 名		職種 伐採作業員		年令 30 才		経験年数 2 年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ		感電	その他
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設備	電圧 kV	回線	電線 ㎜^{2} 導体	地線 ㎜^{2} 条 地線 ㎜^{2} 条						

災害の状況

【件名】 伐採作業中における作業員負傷事故

【発生状況】 当日、伐採業務に従事していた。対象木を伐採範囲内に伐倒するためにチルホール2台（2方向）を使用し、伐木作業に着手。（被災者はチルホール2台のうち1台を操作）
対象木が倒れる際、被災者側チルホールのワイヤーに荷が掛かり、チルホールを取付けていた根株が抜け、被災者の左腕に当たり負傷した。

【経緯】
［2025年4月25日（金）］

8:00	TBM-KY実施
8:30	現場作業着手
11:20	災害発生（意識あり、左腕の痛みあり）
11:30	現場から近隣の病院へ搬送
11:40	実施責任者から関係個所へ連絡
12:00	近隣の病院到着 → 処置 → 帰宅
4月27日	手術のため、入院
4月28日	手術

【被災状況】
左尺骨骨幹部骨折

【被災者の服装】
安全帽、作業服、安全靴、手袋

（注）1. 「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。
2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

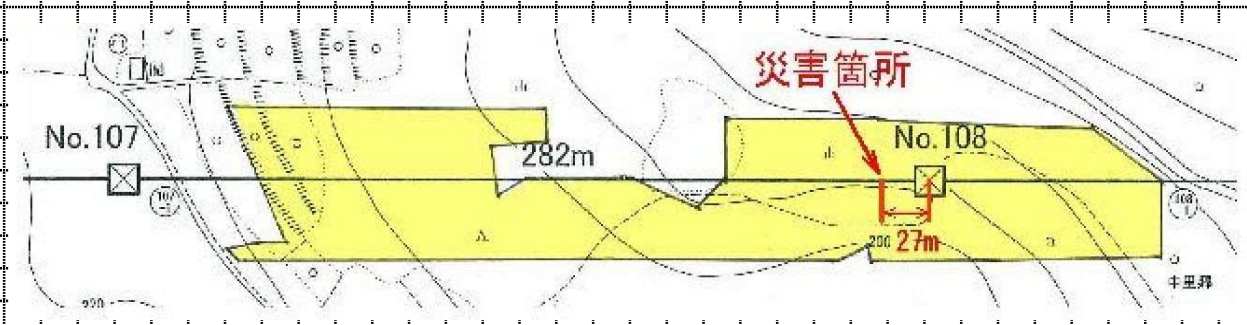
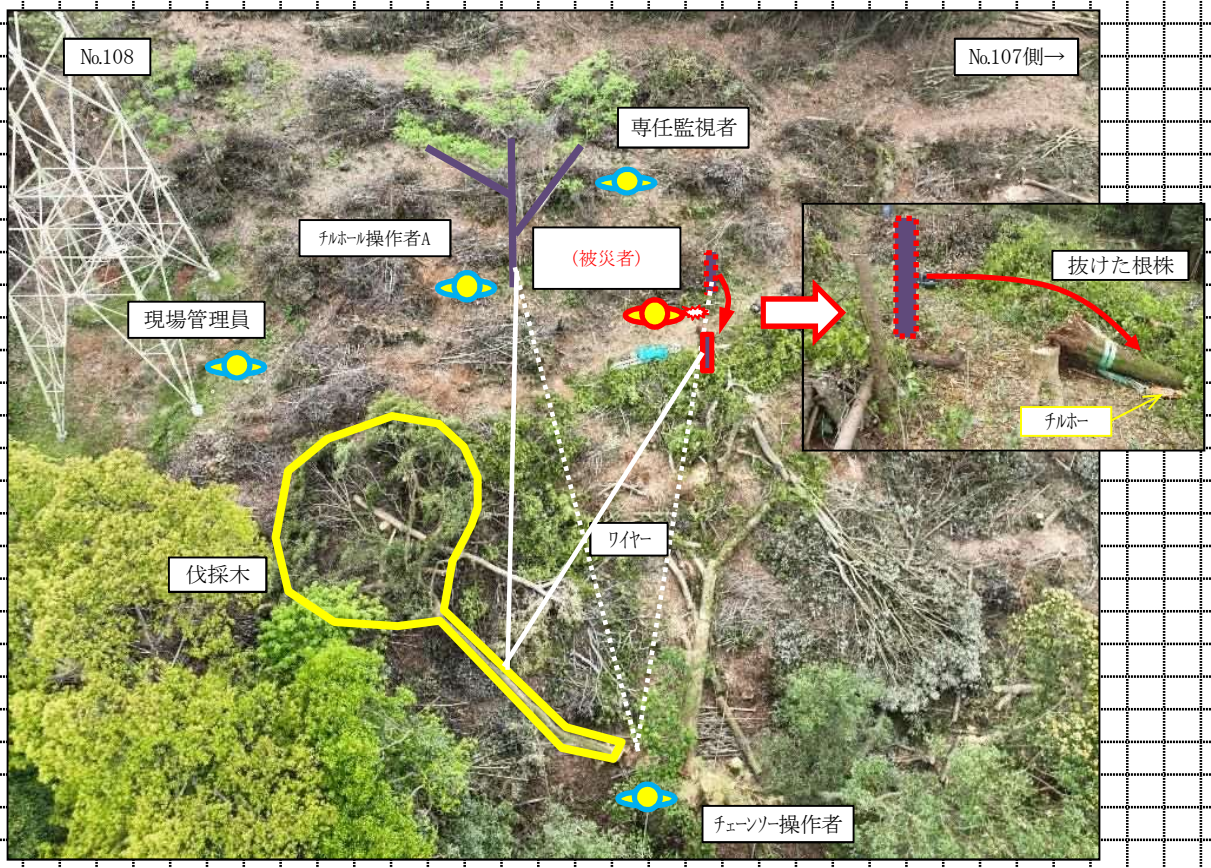
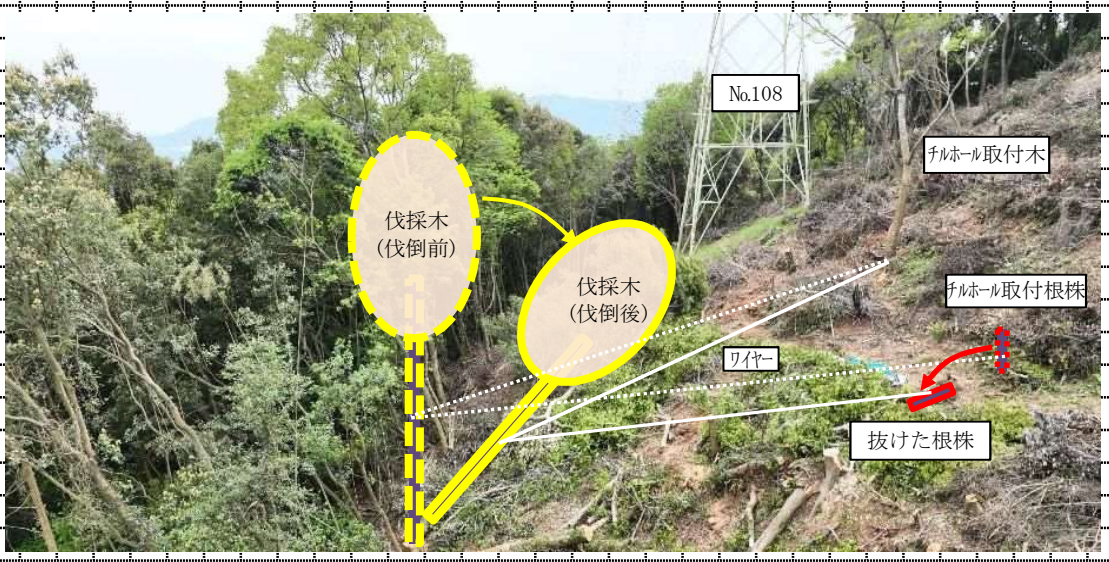
原因及び対策	【 原 因 】 (1) 倒木時の荷重でチルホールを取り付けた根株が抜けることはないと思い込み、同根株を複数回使用していたにもかかわらず、ぐらつきなど異常がないか確認していない。 (2) チルホールを取り付けた樹木はφ28cmあり、過去の経験や今回複数回使用して問題なかったことから抜けることはないと思い込み、退避することは考えていなかった。 【再発防止対策】 (1) 根株選定時の留意事項 ・ワイヤを固定する立木や根株は、腐食状況及び地盤が崩れやすい場所でないか確認した上で使用する。また、複数回使用する際は、都度確認を行う。（必要に応じて立木や根株の変更などを実施） (2) 確実な退避の徹底 ・実施責任者は、チルホールを固定する根株（ワイヤを含む）が抜けてしまうことも想定した退避場所を予め選定し、事前※に退避するよう指示する。 ※事前に退避できない場合は、倒木開始直後に直ちに退避する。 (3) 危険感受性向上の取り組み ・実施責任者は、今回の事故原因及び再発防止策について、乗り込み教育や作業前ミーティング等で周知することで、作業者の危険感受性の向上を図る。

（注）1. 「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。
2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

【概要図】



【災害状況　拡大図】